

# 令和 6年度 杉並区施策評価シート I

( 00046 )

施策 11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成									
目標 03 気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち									
施策担当課 みどり公園課					関係課 都市整備部管理課 土木計画課				
施策目標 区民・事業者等と区が協力することによって、みどりの総量が増加するとともに、みどりの質も向上しています。グリーンインフラの整備が進むことによって、生物多様性の維持・確保や防災機能の向上など、自然環境が持つ多面的な機能を活用した都市環境が形成されています。みどり豊かな身近な憩いの場として、また災害時に備えたオープンスペースとして、誰にとっても安全で快適に利用できる公園整備が進んでいます。									
活動指標					成果指標				
指標名（１）		当該年度に新設、拡張整備した公園面積			指標名（１）		緑被率		
算式・指標説明					算式・指標説明		みどりの実態調査【社会】		
指標名（２）		接道部緑化助成延長			指標名（２）		区民一人当たりの公園面積		
算式・指標説明					算式・指標説明		年度当初の区内公園面積/人口【社会】		
指標名（３）		多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数			指標名（３）		みどりの豊かさに満足する区民の割合		
算式・指標説明					算式・指標説明		区民意向調査による【区民 】		
指標名（４）		みどりに触れ合えるイベントの開催数			指標名（４）				
算式・指標説明					算式・指標説明				
					指標名（５）				
					算式・指標説明				
					指標名（６）				
					算式・指標説明				
区分		単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
			実績	計画	実績	計画 （目標値）	実績		
活動指標	活動指標（１）	1 m <sup>2</sup>	9,700	361	361	1,587	1,587		
	活動指標（２）	2 m	146	350	152	350	127		
	活動指標（３）	3 園	7	6	6	6	5		
	活動指標（４）	4 回	3	3	3	3	3		
成果指標	成果指標（１）	5 %	21.77	22.00	21.99	22.00	21.99	23.00%	令和12年度
	成果指標（２）	6 m <sup>2</sup> /人	2.22	2.21	2.25	2.27	2.27	2.47m <sup>2</sup> /人	令和12年度
	成果指標（３）	7 %	87.3	88.0	85.3	88.0	84.4	90.0%	令和12年度
	成果指標（４）	8							
	成果指標（５）	9							
	成果指標（６）	10							
施策コスト	事業費	11 千円	4,218,579	2,597,043	2,504,042	3,248,498	3,112,437	特記事項	
	人件費	12 千円	634,834	597,249	628,174	573,057	617,393	令和6年度は荻外荘公園、すぎはち公園の整備工事のほか、（仮称）下高井戸四丁目第二公園の用地取得費用が含まれることから事業費が増加しました。成果指標の向上によりつながるよう、活動指標(3)(4)を変更しています。	
	総事業費 (11+12)	13 千円	4,853,413	3,194,292	3,132,216	3,821,555	3,729,830		
	国・都からの補助金等	14 千円	1,003,983	244,601	150,451	0	0		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			35.5	19.6	19.1		
	人件費比率 (12÷13)	16 %	13.1	18.7	20.1	15.0	16.6		

課題・分析	<p>自然環境が有する多様な機能を地域の課題解決へと活用するグリーンインフラは、環境、福祉、教育など様々な分野へと活用することが出来ます。特に、公園の整備・改修やみどりに関する取組はグリーンインフラの核となるものです。公園の新設により、区民一人当たりの公園面積は増えていきますが、5㎡の目標は達成していません。雨水流出抑制や災害に備えたオープンスペース確保等の点からも公園整備を進める必要があります。また、3000㎡未満の公園等が全体の約9割を占め、多世代が幅広く利用できる中規模以上の公園が地域に偏在している現状を踏まえると、様々な公園機能が発揮できる3000㎡以上の公園の整備が必要です。区内のみどりの約7割が民有地であることから、維持管理等を所有者のみに任せるとはならず、区民が自分ごととしてみどりについて考え取り組み、グリーンインフラの活用が地域に広がることで重要となります。そのため、杉並の原風景である屋敷林・農地等を区民共通のみどりの財産として地域で守り育ていく取組等に対する支援が必要です。</p>				
施策の成果	<p>グリーンインフラの核となる公園の整備・改修、みどりに関する取組を進めるとともに、グリーンインフラが環境、福祉、教育など多分野に及ぶことから、みどりの基本計画の改定検討において市内横断的なグリーンインフラの取組を進めることを検討しました。</p> <p>一時避難地に指定されている馬橋公園を拡張整備し開園したことで、地域の防災力を向上することができました。そのほか令和6年度以降の開園に向け、荻外荘公園、すぎはち公園、下高井戸おおぞら公園拡張の整備工事を進め、区民一人当たりの公園面積を増やすことにつなげていきます。多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき、5公園の改修工事を実施するとともに、令和6年度に改修する9公園について地域でのワークショップを開催し、区民とともに公園づくりを進めることができました。</p> <p>建築行為等における緑化指導（1,623件）や接道部緑化の助成（127㎡）等によって、緑被率の向上や、みどりのネットワークの形成を推進しました。保護指定制度による支援のほか、ボランティア等による屋敷林等の維持管理への支援によって民有のみどりの保全を図りました。また、みどりのイベントや落ち葉感謝祭などを開催し、区民のみどりへの関心を高めました。</p>				
<div>改善・見直しの方向</div> <div>中長期</div>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="114 824 379 857">今後の施策の方向性</th><th data-bbox="379 824 1559 857">拡充</th></tr> <tr> <td data-bbox="114 1014 379 1205">今後の進め方</td><td data-bbox="379 1014 1559 1205"> <p>杉並の原風景である屋敷林や農地など、まとまったみどりが特に減少し緑被率が目標に達成していない現状では、公共のみどりに関する取組だけでなく、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりについて考え、取り組むことが重要と考えています。区民意見等をもとに改定を進めているみどりの基本計画においても、このような考えを改定の視点の一つに取り入れ、区民の行動変容につながる取組を示していきます。そのほか、助成金額増加などを視野に入れた保護指定制度の見直しや、市民緑地（区名称：いこいの森）設置数を増やすことによって、屋敷林等みどりの保全を進めていきます。</p> <p>グリーンインフラについては、生物多様性の向上や流域治水の推進をはじめ、環境、教育、福祉など様々な分野の課題解決に寄与するものと考えています。今後は各分野を所管する部署を交えた全庁横断的な取組として進めていくことを検討していきます。</p> <p>一人当たりの公園面積を増やすことや地域の防災機能向上などのため、生産緑地等のまとまった土地を確保して公園の整備を進めていきます。特に、多世代が利用できる公園づくり基本方針における2500㎡以上の核となる公園の整備を進めるとともに、核となる公園を中心とした公園等の改修によって区民ニーズに応える公園づくりも進めていきます。</p> </td></tr> </table>	今後の施策の方向性	拡充	今後の進め方	<p>杉並の原風景である屋敷林や農地など、まとまったみどりが特に減少し緑被率が目標に達成していない現状では、公共のみどりに関する取組だけでなく、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりについて考え、取り組むことが重要と考えています。区民意見等をもとに改定を進めているみどりの基本計画においても、このような考えを改定の視点の一つに取り入れ、区民の行動変容につながる取組を示していきます。そのほか、助成金額増加などを視野に入れた保護指定制度の見直しや、市民緑地（区名称：いこいの森）設置数を増やすことによって、屋敷林等みどりの保全を進めていきます。</p> <p>グリーンインフラについては、生物多様性の向上や流域治水の推進をはじめ、環境、教育、福祉など様々な分野の課題解決に寄与するものと考えています。今後は各分野を所管する部署を交えた全庁横断的な取組として進めていくことを検討していきます。</p> <p>一人当たりの公園面積を増やすことや地域の防災機能向上などのため、生産緑地等のまとまった土地を確保して公園の整備を進めていきます。特に、多世代が利用できる公園づくり基本方針における2500㎡以上の核となる公園の整備を進めるとともに、核となる公園を中心とした公園等の改修によって区民ニーズに応える公園づくりも進めていきます。</p>
今後の施策の方向性	拡充				
今後の進め方	<p>杉並の原風景である屋敷林や農地など、まとまったみどりが特に減少し緑被率が目標に達成していない現状では、公共のみどりに関する取組だけでなく、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりについて考え、取り組むことが重要と考えています。区民意見等をもとに改定を進めているみどりの基本計画においても、このような考えを改定の視点の一つに取り入れ、区民の行動変容につながる取組を示していきます。そのほか、助成金額増加などを視野に入れた保護指定制度の見直しや、市民緑地（区名称：いこいの森）設置数を増やすことによって、屋敷林等みどりの保全を進めていきます。</p> <p>グリーンインフラについては、生物多様性の向上や流域治水の推進をはじめ、環境、教育、福祉など様々な分野の課題解決に寄与するものと考えています。今後は各分野を所管する部署を交えた全庁横断的な取組として進めていくことを検討していきます。</p> <p>一人当たりの公園面積を増やすことや地域の防災機能向上などのため、生産緑地等のまとまった土地を確保して公園の整備を進めていきます。特に、多世代が利用できる公園づくり基本方針における2500㎡以上の核となる公園の整備を進めるとともに、核となる公園を中心とした公園等の改修によって区民ニーズに応える公園づくりも進めていきます。</p>				

# 令和 6年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 11】【施策名称 グリーンインフラを活用した都市環境の形成】

金額の単位は千円

( 00046 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 5年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 398	水辺環境の整備			1,814	8,873	10,687	現状維持
2 411	公園の維持管理			1,371,705	300,699	1,672,404	現状維持
3 412	遊び場の維持管理			36,597	22,363	58,960	現状維持
4 413	公園等の整備			1,181,393	64,915	1,246,308	現状維持
5 414	公園のリニューアル			237,539	27,350	264,889	現状維持
6 415	みどりを育てる			26,188	58,017	84,205	推進（拡充）
7 416	みどりを創る			117,636	42,083	159,719	現状維持
8 417	みどりを守る			38,458	44,625	83,083	推進（拡充）
9 418	みどりの基金			7,712	2,971	10,683	現状維持
10 419	公衆便所の維持管理			29,494	17,204	46,698	現状維持
11 420	公園緑地事務所等の管理運営			63,901	28,293	92,194	現状維持
12	以下再掲事業分の評価表						
13 424	環境配慮行動の推進						
14 431	自然環境の保全						
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				3,112,437	617,393	3,729,830	

<p>施策を構成する 事務事業に関する特記事項</p>	<p>改定を進めているみどりの基本計画では、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりについて考え、取り組むことが重要と考え、区民の行動変容につながる取組を進めていくことから、「みどりを育てる」を「推進（拡充）」としています。あわせて、助成金額増加などを視野に入れた保護指定制度の見直しや、市民緑地設置数を増やすことによって、屋敷林等みどりの保全を今後進めていくことから、「みどりを守る」を「推進（拡充）」としています。</p>
---------------------------------	---